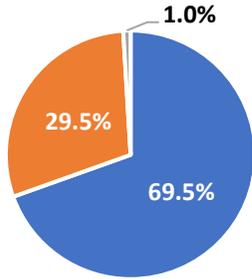


# 農業遺産シンポジウムアンケート集計結果

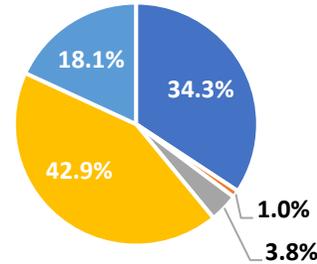
開催日時 : 11/19 (火) 13:00~17:00  
 参加人数 : 会場参加: 72名 オンライン参加: 170名  
 アンケート回答数: 105件 (会場参加: 51件、オンライン参加: 54件)  
 アンケート回収率: 43% (会場参加: 70.8%、オンライン参加: 31.7%)

① 性別を教えてください



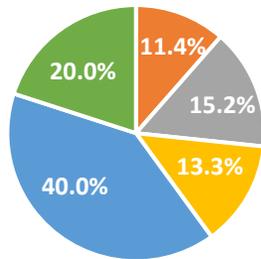
- 男性
- 女性
- 無回答

④ 今回のシンポジウムをどこで知りましたか



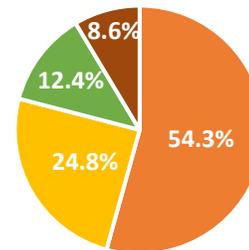
- 農林水産省HP
- PR TIMES
- 月刊事業構想オンラインニュース・メールマガジン
- 知人・家族・職場等の紹介
- その他

② ご年齢を教えてください



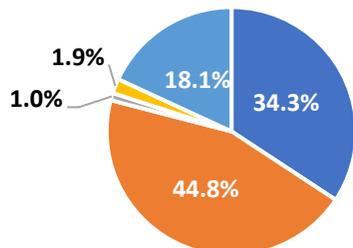
- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代以上

⑤ 農業遺産を知っていましたか



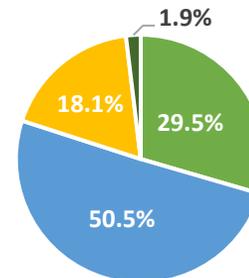
- よく知っている
- 少し知っている
- 言葉だけ知っている
- 全く知らなかった

③ ご職業を教えてください



- 自治体
- 一般企業
- 学生
- 主婦・主夫
- その他

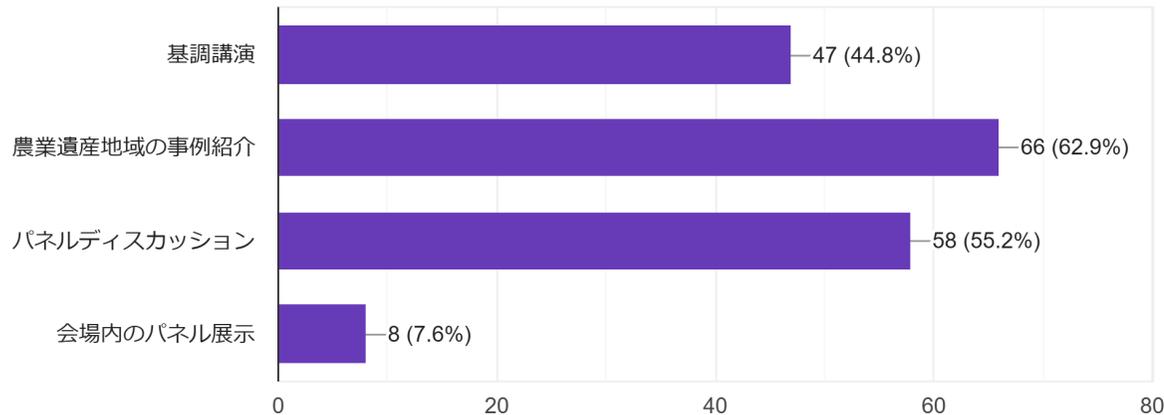
⑥ シンポジウムの内容はいかがでしたか



- とても満足
- 満足
- 普通
- 不満
- とても不満

⑦ 今回のシンポジウムで関心を持った内容とその理由を教えてください（複数回答可）

105件の回答



【会場参加】 ※一部抜粋

- 能登の野菜や棚田等、観光と農業の重要性。さらに創造的復興プラン、創造的復興リーディングプロジェクトという手法、考え方が勉強になりました
- 地方なのに最先端な取り組みをおこなっており、われわれの自治体にも取り入れるべき事例が多かった
- それぞれの地域の特色を活かし地元企業と一次産業を結び付けていたところが興味深かった
- 地形的メリット、デメリットを生かして暮らして来た日本人の文化を海外や地域外の人に知ってもらえる良い事例でした
- 農業遺産を地域経済の活性化につなげるためには、企業との連携の必要であると考えており、今回の内容は非常に参考になるものであった
- パネルディスカッションはとても有意義であった。FRaU編集長の関さんがおっしゃったシビックプライドの醸成、島田さんがおっしゃった認知度の向上は大きな課題であり、色々な方向からアプローチして欲しい

【オンライン参加】 ※一部抜粋

- 農業遺産認定後の活動のあり方を検討するのにとても役立つ内容であった。
- 石川県能登地域の復興に向け、生活者、農業者の思い、農業遺産地域の声を聞くことができた。また、パネルディスカッションでは、地域と企業の連携にあたって、農産物流通、観光、メディア、地域研修実践者から、日ごろ感じておられる声が聞けたことが良かった。
- 様々な観点・立場からのお話が聞けてよかったです。地域の資源活用について考える機会となりました。
- 事例は地域の方々の具体的な発表が参考になりました。またシンポジウムは、農+αの発想や切り口が大変勉強になりました。
- 農業遺産関係者ですが、他地域の事例から学べる内容がとても多いと感じた。

## ⑧ 農業遺産地域を応援するためにご自身が行きたいことや、地域と企業の連携した取組のアイデア等があれば記載してください

### 【会場参加】※一部抜粋

- 農業遺産地域のみを応援すれば良いという訳ではないと思う。指定されるには何が条件なのかわからないが、全国的にどの地域の農業も活性化させなければならないのでは？地域と企業が連携しようとしても行政が邪魔するケースが多すぎる
- 行政側として自治体、地域の組織、目的の再検討。PRの仕方など
- 認知度が低いので、住民活動ワークショップなどを通して、住んでいる地域の人にまずは知ってもらいたい
- 各地域の歴史的/文化的な背景やストーリーの発信をやっていききたい
- 自治体側として「農業遺産」として連携・協働を進めていく上で、地域が企業に提供できるもの（メリット、企業側が求めているもの）がイマイチ分からない。農業遺産制度自体が認知度が低く、やや分かりにくいところがあるので、説明に苦労することがある。今回のシンポジウムのような事例紹介はうれしいです
- 地域住民が地域を知ってもらい、誇りをもってもらうことが必要。ワークショップなどを積極的に行っていきたい
- 農業遺産の認知度向上の為、当社ができる関係人口、交流人口の向上策を考えていきたい。民間が活用できるロゴやサポーター制度の設定をお願いいたします

### 【オンライン参加】※一部抜粋

- 農業遺産地域と地域の支援を考える企業のマッチングフェアを行ってほしい
- CSRだけでなく、従業員の研修や自己研鑽、福利厚生の方からも農業遺産地域での活動を取り入れる取組を促進してはどうか。税制面での優遇措置などの促進策も必要と思います
- 将来を担う子供達（中高生等）の交流の場として農業遺産地域を活用した地方創生やレジリエントな街造りに取組んでみたい
- 個別の認定地域や構成資産の担い手が直接企業と結びつくことは、機会や事務能力の面でハードルが高いため、国で「GIAHSを応援したい企業」と「企業と連携したい地域」を結びつけるプラットフォームを作り、マッチングを支援してほしい
- 農業遺産といふとなにか一つの「遺産」と目すものがあり、その保存をめざすものと思っていたので、「遺産地域」という考え方が新鮮だった。なるほどそう思えば、遺産を中心により広く地域の可能性がみえてくる。石川県の方の講演もさまざまな地域づくりの芽が散りばめられており、遺産保存が観光にまで広がるのかと驚いた。状況は似ているので、より深く地元の遺産を掘り起こした先に、アイデアも生まれてくるかな
- 世界遺産のようなニュース性が高まると、一般認知度もあがるため、報道に取り上げられる季節にちなんだイベント等があると良いのではないかと推測いたします
- 学び合いの場づくり、農業遺産の普及啓発などに取組みたい。Jクレジットの様な形で、企業が農村部の農林水産業を金銭的にサポートできる仕組みが今後さらに広まると良いと思った

## ⑨ その他、ご意見・ご感想がありましたらお聞かせください

### 【会場参加】 ※一部抜粋

- 大変勉強になりました。日本は災害大国ですが、復興事例、取組みを単発で終わらせることなく共有していきたい
- 農業遺産の国民向けPRの事業が強化されるといいなと思いました
- まずはその地域に興味を持つこと。その地域に足を運ぶこと。ふだんの生活の中で意識するきっかけになった
- 本日のシンポジウムがとても勉強になった分、自治体以外の企業の方々にも農業遺産を知ってもらうために、もっと沢山の人の参加してもらいたいと思ったのでは…？と思いました。（Zoomもあるとは思いますが…）周知に力を入れたうえでもっと開催してほしい
- 特定の業種の企業との話し合いの場があってもよいかと思った。（例えばツーリズムのみとか情報発信のみなど）
- 農業遺産の内容や取組について理解が深まる内容でとても良かったです。

### 【オンライン参加】 ※一部抜粋

- 自身で満足され表に出ず、ベールをかぶっていることが多い気が致します
- 止められない少子高齢化・人口減少の中で、長期的に続けられる取組みを取捨選択する必要があると思うが、さも外国人の観光誘致等により現在の農業遺産が維持できる様な議論は、本当かと疑いたくなる部分もあった。そういう意味では、現実的な議論がなされていない様にも感じた
- やはり、1番は知られてないことだと思うので、内閣府・農水省・国交省連携し、国内旅行向け、インバウンド向けの遺産地域プロモーションを大手旅行会社とともにやる
- 地域と企業の連携にあたっては、双方の情報交換、ニーズや受入れ姿勢などお互いの歩み寄りがないと実現せず、まずは地域からの発信が大事だと思った
- 地域と連携している企業側からの話も聴きたかった
- このような国内の農業遺産の地域間で学びあう機会が大変重要と感じた
- 農業遺産取得を目指す立場での話（方法論等）が聞きたかった